

## 経営体制の一新について

2018年3月2日

株式会社SUBARU

代表取締役社長 吉永泰之

当社の経営トップ4名が、それぞれの思索を経て、個人として、そして企業としての結論に至りましたので、皆様にご報告いたします。

一言で申し上げれば、個人としても企業としても「きちんとありたい」。

SUBARUは、きちんとしていることを何よりも大切にする、信頼されるブランドでなければならないという結論です。

### ◆具体的内容

#### 1. 経営体制の一新

昨年発生した完成検査に関わる不適切事案は、一方で当社が次の世代へ経営を移行することを思索する中での事案でもございました。現経営陣として、お客様をはじめとする当社のステークホルダーの皆様へ、ご心配とご迷惑をお掛けしたことを心よりお詫び申し上げ、きちんと「けじめ」をつけたい。そして今後のSUBARUへのご支援もお願いしたい。

その想いから、当社の経営トップ4名<取締役会長 近藤潤、代表取締役社長 吉永泰之、代表取締役専務 日月丈志、取締役専務 笠井雅博（製造部門担当）>が6月の株主総会をもって退任することといたしました。

※吉永泰之は後述の理由により、代表取締役会長に就任予定

#### 2. 4月からの役員体制の狙い

自動車業界が変革期にある中で、お客様からの信頼と共感をいただき、お客様にとって大切なブランド、そしてお客様の笑顔を実現できる会社を目指して、以下の4点を重点課題として変革を進めていきます。

- ① 経営陣の若返りと組織活力の強化、チャレンジ精神の強化
- ② 経営全体の質の向上
- ③ 市場対応力の強化
- ④ 技術と技術マネジメントの向上

#### 3. 次期社長

6月に開催予定の株主総会、および、その後の取締役会において、次期社長に中村知美（現 専務執行役員 兼 スバル オブ アメリカ インク 会長）を選任予定です。その後、SUBARUの描く中期経営ビジョン（計画）については、新たに、新社長、新体制のもと最終的に詰め、今夏を目途に発表したいと考えています。

#### 4. 企業体質の改善について

最後に、完成検査問題等で明らかになった当社の企業体質の課題の改善については、「真に正しい会社」となるため、現社長の吉永が代表取締役会長（CEO）に就任し、更に信頼されるブランドを築き上げるべく全力を注ぎ、責任をもって進めていきます。

以上